

エコアクション21 環境経営レポート



対象期間

2021年5月1日～2022年4月31日

株式会社 アラマキ

発行日 2022年 6月 16日

改定日 2022年 7月 8日

目次

■会社概要	P 1～ 4
■環境経営方針	P 5
■実施体制（組織図）	P 6
■廃棄物処理フロー図	P 7
■環境経営目標と実績	P 8
■環境経営計画	P 9
■環境経営計画の取組結果及び評価と次年度の取組内容	P 1 0
■環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無	P 1 1
■代表者による全体評価と見直し・指示	P 1 1

会社概要

1. 社名及び代表者氏名

株式会社 アラマキ

代表取締役 荒牧勝

2. 所在地

愛知県あま市新居屋上古川13番地24 本社（登記上）

愛知県七宝町下田江西26番地（本社・七宝リサイクルセンター）

3. 事業の規模

設立年月日 2011年5月16日

資本金 500万円

売上高 149 百万円

（2021年5月～2022年4月）

従業員数 6名

4. 環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者 渡辺 やよい

TEL 052-462-6117

FAX 052-462-6118

✉ cabu-aramaki-714@poem.ocn.ne.jp

HP <https://k-aramaki.com/>

4. 事業内容

産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物処分業（中間処理）

第一種フロン類充填回収業

5. 収集運搬・処分実績

収集運搬 397.02t（2021.5月～2022.4月）

処分実績 815.83t（2021.5月～2022.4月）

再資源化 585.78t（2021.5月～2022.4月）

6. 保有車両他

保有車両

4 t アームロール車 2 台

4 t ユニック車 2 台

2 t 平ボディー 1 台

軽トラック 1 台

3 t 箱車 1 台

重機（油圧ショベル） 2 台

フォークリフト 2 台

保有コンテナ

10 m³ 5 個・8 m³ 2 2 個

3.5 m³ 2 2 個・3 m³ 2 0 個

2 m³ 1 0 個・1.5 m³ 2 9 個

選別機 1 台 切断機 1 台

※当社全組織、全活動を対象範囲とする

7. 許可一覧

業の区分	許可区域	許可番号	許可年月日	有効年月日
収集運搬	愛知県	02310160801	令和3年8月17日	令和8年8月16日
	岐阜県	02100160801	令和3年8月2日	令和8年8月1日
	三重県	02400160801	令和3年9月14日	令和8年8月9日
	静岡県	02201160801	令和3年7月12日	令和8年7月11日
	長野県	2009160801	令和2年5月1日	令和7年4月30日
	滋賀県	02501160801	令和3年8月8日	令和8年8月7日
処分業	愛知県	02320160801	令和4年6月1日	令和11年3月26日
第1種 フロン類充填	愛知県	29尾海環第151-29号	平成29年11月8日	平成34年11月7日
	岐阜県	環管第14号の134	平成29年10月26日	平成34年10月25日
	三重県	環生第16-3号の100	平成29年11月6日	平成34年11月5日

・切断

廃プラスチック類（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）、金属くず（自動車等破砕物除く。）、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を除く。） 以上4品目

・選別

廃プラスチック類（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず（自動車等破砕物除く。）、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を除く。） 以上8品目

《産業廃棄物処理能力》

・切断

廃プラスチック類（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）・・・10.08 t/日(1.26 t/時間)

廃プラスチック類（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）、金属くず（自動車等破砕物を除く。）・・・6.4 t/日(0.8 t/時間)

金属くず（自動車等破砕物を除く。）・・・6.4 t/日(0.8 t/時間)

金属くず（自動車等破砕物を除く。）、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）

及び陶磁器くず（自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。）・・・6.4 t/日(0.8 t/時間)

金属くず（自動車等破砕物を除く。）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を除く。）・・・8.4 t/日(1.05 t/時間)

・選別

81.6 m³/日(10.2 m³/時間)

《第一種フロン類充填回収許可》

回収しようとするフロン類の種類・・・CFC、HCFC、HFC

充填しようとするフロン類の種類・・・CFC、HCFC、HFC

《産業廃棄物収集運搬一覧》

愛知県	(品目により一部積替え・保管含む。)
(積替え・保管を除く。)	
燃え殻(水銀含有ばいじん等含む。)、廃油、廃酸(水銀含有ばいじん等を含む。)、廃アルカリ(水銀含有ばいじん等含む。)、ゴムくず、鋳さい(水銀含有ばいじん等含む。)、ダスト類(水銀含有ばいじん等含む。)	
以上7品目(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)	
(積替え保管を含む(面積914.5㎡保管面積7.27㎡)保管上限11.32㎡)	
汚泥(水銀含有ばいじん等含む。)、廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。)、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず(自動車等破砕物を除く。)、ガラス陶磁器くず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。)	
以上8品目(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)	

岐阜県	(積替え・保管を除く。)
燃え殻、汚泥、廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず(自動車等破砕物を除く。)、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。)、がれき類	
※上記10品目は石綿含有産業廃棄物であるものを含む。	
廃油、廃酸、廃アルカリ、鋳さい、はいじん	以上15種類
上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等含む。	

三重県	(積替え・保管を除く。)
燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む。)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず等(石綿含有産業廃棄物を含む。)、鋳さい、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。)、ばいじん	
以上15品目	
※ガラスくず等とは、「ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築、又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず」をいう。	

静岡県	(積替え・保管を除く。)
廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。)、紙くず、木くず、繊維くず	
以上7品目	

長野県 (積替え・保管を除く。)

燃え殻(水銀含有ばいじん等を含む。)、汚泥(水銀含有ばいじん等を含む。)、廃油、廃酸(水銀含有ばいじん等を含む。)、廃アルカリ(水銀含有ばいじん等を含む。)、廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物又は水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物又は水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、鉍さい(水銀含有ばいじん等を含む。)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。)、ばいじん(水銀含有ばいじん等を含む。)(廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずは自動車等破砕物を除く。)以上いずれも特別管理産業廃棄物を除く。

滋賀県 (積替え・保管を除く。)

燃え殻、汚泥、廃油(タールピッチ類を除く。)、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築、又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず、鉍さい、工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片その他にこれに類する不要物、ばいじん(石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含む。)

以上15品目

環境経営方針

<基本理念>

株式会社アラマキでは地球上全世界において異常気象による災害等が発生しており産業廃棄物収集運搬・中間処理業において環境保全、リサイクル活動に積極的に取り組む事により温暖化防止につなげ、SDGs 13番目の目標に掲げられている「気候変動に具体的な対策を」の実現につなげ、CO2に排出量削減に貢献していきます。

<基本方針>

- ・ 環境関連法規制を遵守します。
- ・ 消費エネルギーの削減に取り組み二酸化炭素排出量を低減します。
- ・ 環境目標を定め、自主的・積極的な環境活動計画を展開します。
- ・ 水資源の有効利用・節水に努めます。
- ・ 受託廃棄物の適正処理、徹底した分別でリサイクルの推進に努めます。
- ・ 環境方針を全社員に周知し環境活動に取り組みます。

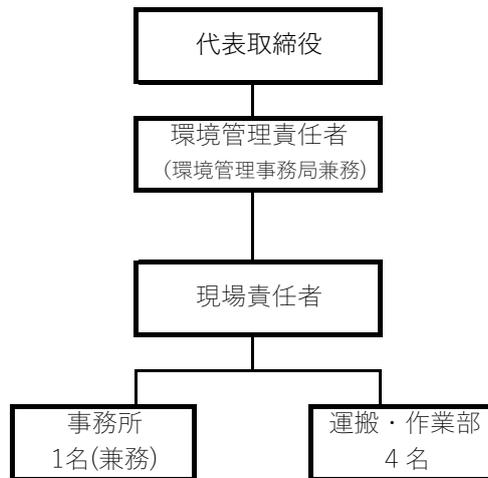
これらについて目標・計画を定め、定期的に見直しを行い継続的な改善に努めます。

株式会社 アラマキ

代表取締役 荒牧 勝

制定日 令和 3年 1月 25日

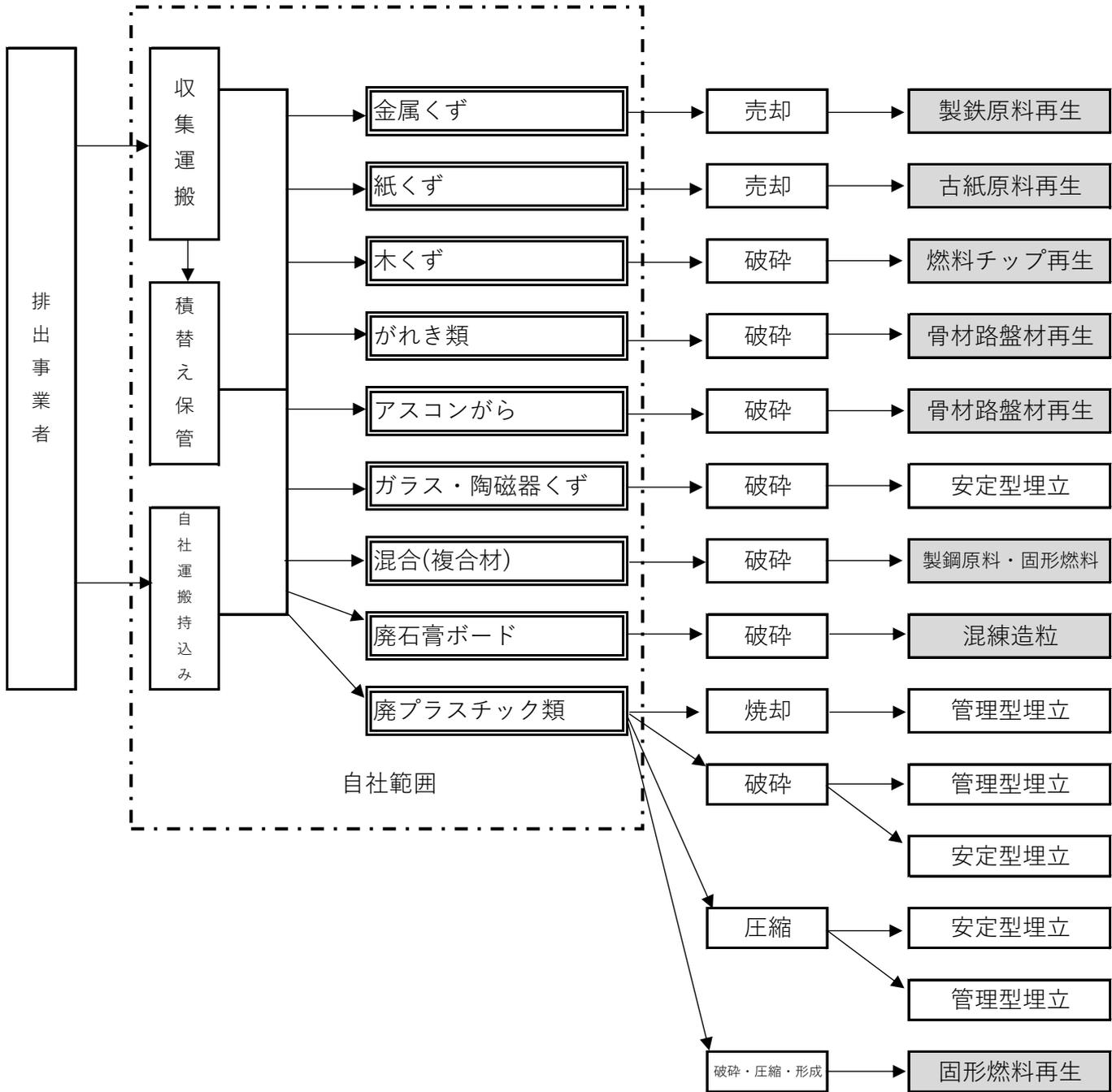
組織図



役割

代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営の統括責任者 ・環境管理責任者の任命を含めた組織体制の構築 ・環境関連法規等の取りまとめ、承認 ・環境方針の策定、見直し ・環境活動レポートの承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・全社員への教育並びに訓練実施、記録の作成 ・環境経営システムの構築、実施、管理の責任者 ・環境活動レポートの作成責任者 ・環境活動の管理状況を代表者へ報告業務 ・問題点の発見、是正、予防処置の実施
環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷及び環境への取り組みの確認と実績の取りまとめ ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境関連法規等とりまとめと厳守状況のチェック ・環境管理文書・記録の作成と保管
現場責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員への指導・実践 ・環境目標達成するための活動の推進・提案 ・手順書作成及び運用管理
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・自分の役割を理解し、自主的・積極的に環境活動へ参加

フロー図



※リサイクルは塗りつぶしにて表記

令和3年5月現在

環境経営目標と実績の推移

環境経営目標

目標項目	単位	(基準年度)	2021.5月 ~2022.4月	2022.5月 ~2023.4月	2023.5月 ~2024.4月	2024.5月 ~2025.4月
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-CO2	43,699.90	43,262.90	42,825.90	42,388.90	41,951.90
	(削減率%)		1	2	3	4
電力使用量の削減	kwh	11,703.00	11,585.97	11,468.94	11,351.91	11,234.88
	(削減率%)		1	2	3	4
ガソリンの削減	L	1,482.00	1,467.18	1,452.36	1,437.54	1,422.72
	(削減率%)		1	2	3	4
軽油使用量の削減	L	13,181.00	13,049.19	12,917.38	12,785.57	12,653.76
	(削減率%)		1	2	3	4
灯油使用量の削減	L	510.00	504.90	499.80	494.70	489.60
	(削減率%)		1	2	3	4
中間処理再資源化量の向上	t	683.77	752.15	902.58	1,173.35	1,642.69
	(向上率%)		1	2	3	4
水使用量の削減	m ³	57.00	56.43	55.86	55.29	54.72
	(削減率%)		1	2	3	4

※1.購入電力排出係数は中部電力ミライズ(株)調整後排出係数0.426kg-CO2/kwhを使用 (2019年度実績)

※2.PRTR法に該当する化学物質の使用はありません。

※基準年度は2020年5月~2021年4月までの集計結果

環境経営目標と実績

目標項目	単位	目標	実績	達成率	評価
二酸化炭素総排出量合計	kg-CO2	43,262.90	48,371.94	89%	×
電力使用量の削減	kWh	11,585.97	12,117.00	96%	△
ガソリン使用量の削減	L	1,467.18	1,182.31	124%	○
軽油使用量の削減	L	13,049.19	15,429.18	85%	×
灯油使用量の削減	L	504.90	265.00	191%	○
中間処理再資源化量の向上	t	752.15	585.78	78%	×
水使用量の削減	m ³	56.43	62.00	91%	△

※評価基準 達成率100%以上○ 90%以上△ 90%未満×

※1二酸化炭素の排出量は購入エネルギーによる排出量を対象として削減しています。

※2参考(原単位実績値算出に関する項目別総量実績)

環境経営計画

目標項目	活動	取組者
二酸化炭素の排出量の削減 (電力)	不要照明の消灯	全社員
	クールビズ・ウォームビズの実施	全社員
	就業時間終了後パソコンの電源を切る	事務所
	OA機器の省エネモード設定	事務所
	現場設備使用時ブレーカーのスイッチON	作業部
二酸化炭素の排出量の削減 (ガソリン・軽油・灯油)	エコドライブの実施	運搬・作業部
	アイドリングストップの活用	運搬・作業部
	ルートを確認し移動距離の短縮を目指す	運搬・作業部
	始業前車両点検の徹底	運搬・作業部
	エコ運転記録表を記入する事により故障等を減らす	運搬・作業部
	灯油使用製品の使用を控えブランケット等使用する	事務所
中間処理再資源化量の向上	排出事業者への1次選別依頼	運搬・作業部
	現場での分別精度の向上	作業部
水使用量の削減	使用後は必ず栓を止める	全社員
	節水に努める(節水シール貼付)	全社員

環境経営計画の取組結果及び評価と次年度の取組内容

目標項目	活動計画	評価	取組結果及び次年度取組
二酸化炭素の排出量の削減 (電力)	不要照明の消灯	○	就業時休憩室使用時以外は消灯する事を全社員実施できた。 結果は未達成なので活動計画の見直し充実をはかって継続していきます。
	クールビズ・ウォームビズの実施	○	
	就業時間終了後パソコンの電源を切る	○	
	OA機器の省エネモード設定	○	
	現場設備使用時ブレーカーを入れる	○	
二酸化炭素の排出量の削減 (ガソリン・軽油)	エコドライブの実施	○	収集前に走行ルートの確認を徹底して行った。社員へ事前ミーティングとして定着してきている。灯油使用製品の使用回数を控え、ブランケット等使用した為大幅に使用量が削減できた。重量物搬入頻度増加により場内車両の使用燃料が増えた為数値的には達成できなかった。
	アイドリングストップの活用	○	
	ルートを確認し移動距離の短縮を目指す	○	
	始業前車両点検の徹底	○	
	エコ運転記録表を記入する事により故障等を減らす	○	
	灯油使用製品の使用を控えブランケット等使用する	○	
中間処理再資源化量の向上	排出事業者への1次選別の徹底	○	実施できた。継続していきます。搬入物量が減少した為、資源化量が減少した。
	現場での分別精度の向上	○	
水使用量の削減	使用後は必ず栓を止める	△	場内水道蛇口に故障している箇所があり数日気づかなかった為使用量が増えてしまった。使用後栓の閉まり具合のチェックをするよう徹底していきます。
	節水に努める(節水シール貼付)	○	

○→実施 △→一部課題有 ×→未実施

■環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

法規制等の名称	該当する事項 (対応すべき事項)	確認事項	遵守 確認
廃棄物の適正な処理の 促進に関する条例	・産業廃棄物収集運搬・処理業者の許可の確認	許可証	○
	・収集運搬基準、保管基準 掲示板: 60cm×60cm以上表示(種類、管理者、連絡先、積上げ高さ) 飛散・流出・浸透防止、害虫発生防止 衛生管理 車体表示、必要書面の備え付け	遵守状況	○
	・マニフェスト交付 B2・D票90日、E票180日以内に送付されない場合は30日以内に 知事への報告。 《収集運搬》B1・C1・C2票の保管(5年間) 《二次》A・B2・D・E票の保管。(5年間) 《処分》C1票の保管(5年間)	マニフェスト	○
	・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	報告書提出	○
	・収集運搬及び処分の報告書提出	報告書提出	○
	・帳簿の作成、管理	作成・保管	○
	・年1回委託先の確認	委託先確認	○
	フロン排出抑制法	・簡易点検の実施	簡易点検 記録
・記録作成保存			
・第一種フロン類充填回収業許可の確認		許可証	○
・行程管理票含む確認証明書F票(3年間保存)		管理票	○
・充填量及び回収量等に関する報告書の提出		報告書提出	○
・引取証明書の写し(3年間)		保管	○
浄化槽法	・保守、点検・清掃及び記録保存(3年間)	定期清掃・点検	○
自動車NOx・PM法	・自動車NOx・PM排出抑制	買替	該当なし
		法定点検	○
自動車リサイクル法	・使用済自動車の適正処理	発生都度	該当なし
県民の生活環境の 保全等に関する条例	・自動車の使用に伴う環境への負荷の低減	遵守状況	○

環境関連法規への違反・訴訟はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

■代表者による全体の評価と見直し・指示

エコアクション21の認証登録を受け1年を通して取組み、社員の意識も高まったと思います。環境経営目標と実績の評価については、二酸化炭素総排出量は未達成となりましたが建設産業廃棄物より産業廃棄物の搬入量が増加した為場内車両使用頻度が上がったものと思われる。灯油使用量に関しては、灯油使用製品の使用を少なくした為大幅に達成したが環境経営目標の数値を次年度に向けて見直しをする。

活動を開始したばかりなので今後も社員への定着と活動計画の見直しをはかっていきたい。経営方針、実施体制については有効に機能している。